

# 2023 年度(令和 5 年度)事業計画書

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

## 1、事業活動の方針

3 年間の新型コロナ感染拡大による様々な出来事があり、医療介護の現場では、常に緊張を強いられる中での運営が続きました。5 月よりコロナ感染症が 2 類から 5 類に変更されると見込まれ、少しずつ社会生活が通常に戻るものと期待されます。ただ感染症が無くなるというわけではないので、医療介護の現場では、これまでの知見を活かした実践が求められます。

ゼロ歳から百歳まで安心して暮らしていけるまちづくりを目指してきた当会の活動は、2021 年 10 月に開設された「HALEたちばな」として一歩踏み出しました。それぞれの事業所で開設以来1年半が過ぎて見えてきたことがあります。医療的ケア児の支援には、療養生活環境に地域間格差があり、県内各地からの依頼、相談の件数が増えています。短期入所Leileiは、福祉型強化短期入所ですので、医療型短期入所と比較して診療報酬の単価が安く 3 分の1程度です。しかし、利用者は、日常的な医療的ケアと医療機器が必要で、例えば気管切開部の管理、人工呼吸器の管理、吸引、在宅酸素、胃瘻など経管栄養、中心静脈栄養等々、看護、介護の高度な専門性が要求されます。医ケア児に医療が必要なのは当然ですが、訪問看護に来てくれる馴染みの人がいる居場所が求められています。本年度も生活と命を守るために細心の努力が続きます。

「みつばち診療所」は、がんのターミナルの方から小児在宅医療まで、幅広く担当し、在宅患者件数も順調に伸びてきました。本年度より宮崎大学総合診療科の協力を得て常勤医師 2 名体制になります。それに伴い手狭になった診療所を 1 階の研修センターに移転し改装しました。研修センターは、3 階の診療所跡に設けられました。また、医療が生活を支配しないという視点においては、成人の在宅医療と小児在宅医療は共通しています。これらの業務を担うためスタッフの充実とそれに見合う待遇改善に努めます。

「ホームホスピスカあさんの家」は、コロナ感染拡大に伴い、チームカンファや研修会等ができない状態が続いていました。本年はホームホスピスの理念やスキルの向上のために研修の機会を持ち、法人内の診療所や訪問看護との連携を密にし、情報共有に努めます。「ささえあい生目台安庵」は、昨年 5 月以降介護職不足のため休止状態が続いていて、かあさんの家は、現在 3 軒定員数は 15 名となっています。感染防止対策をしながら、ご家族との「つながり」を絶やさないように工夫し、ご家族が納得の看取りができるように支援します。介護スタッフの人員の充足は急務です。求人募集の工夫をします。

教育プログラム事業を今後も推進していきます。「がん患者サポーター養成研修会」、「これからライフデザイン塾」「市民公開講演会」などの研修事業は、オンラインの良さも活かしながら、対面での研修会を開催します。ホスピスボランティア活動で「宮崎聞き書き隊」は引き続き実施し、全国聞き書き学校にも参加します。「緩和ケア園芸ボランティア」「患者らいぶらり」は実施場所が病院の為、コロナ感染で中止になっています。病院への出入りが自由になれば、再開の見通しです。

暮らしの保健室は、「ゆるりサロン」、「えがおキッチン」や「陽だまりカフェ」など、いずれも感染防止対策をしながら、少人数で密を避ける方策で実施します。「宮崎県がんサポート事業・ふらっとカフェ」は、宮崎県立病院会議室での開催が可能となりました。本年度は、若い世代のがん患者への支援や就労支援などの情報をつなぐ役割を探します。

法人内のリーダー会議を定期的で開催し、運営状況も含めて情報共有できるようにします。その過程で抽出された課題を、どうやったらできるかを考え機会を創り、その機会を通じて変化をもたらせればと考えます。

## 2、事業の実施に関する事項(今年度は次のような項目を重点的に実施します。)

### 1) 在宅ホスピス支援センター事業 (ホスピスボランティア事業)

#### (1) 患者らいぶらり

実施日時：毎月第3木曜日 14:00～16:00 (現在休止中)

場 所：古賀総合病院 中央4F病棟 東棟3F病棟産婦人科

内 容：病棟の図書管理、整理

担 当：峰 瑞枝

#### (2) 宮崎聞き書き隊

実施日時：毎月第2日曜日 10:00～12:00

場 所：暮らしの保健室

内 容：依頼のあった方を聞き書きする

聞き書き例会の開催 (第2日曜日)

他団体の聞き書き活動のサポート

担 当：井上 直敬

#### (3) 緩和ケア病棟園芸ボランティア

実施日時：毎月第1・第3水曜日 10:00～12:00 (現在休止中)

場 所：宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭

内 容：緩和ケア病棟の庭園の花の管理等

担 当：村中 伸子

#### (4) かあさんの家ボランティア

実施日時：随時

場 所：ホームホスピスカあさんの家

内 容：庭の手入れ(ご家族)

ボランティア実習(看護学生)

担 当：久保野 イツ子

## 2) 人材養成のための教育プログラム

### (1) 市民公開講座 映画会 (令和5年度 宮崎市在宅療養相談事業)

「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～」

期 日:未定

会 場:宮崎キネマ館

### (2) がん患者と家族のためのサポーター養成講座(宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託)

「在宅ケアを使って暮らす (仮)」

期 日:2024年(令和6年)1月予定

会 場:未定

講 師:未定

### (3) 地域へのホスピスマインド醸成のための出前講座

「延岡市 つなぐ本舗 納屋カフェ縣塾」

期 日:2023年4月9日(日)

会 場:納屋カフェ

講 師:市原美穂

## 3) エンドオブライフケア支援事業

### (1) 暮らしの保健室

「地域に開放した暮らしの保健室を目指して」

地域との連携…赤江まちづくり推進委員会・赤江地区包括支援センター

暮らしの保健室だより 年12回

#### ① ゆるりサロン

・要介護者、要支援者でもなく、自分の身の回りのことはできるが、日中は主に一人暮らしの方々が共に集って、一緒にランチ食べてお茶の間の居場所となっている。

・地域包括ケアセンターとも連携を取りながら、ゆっくりした時間と空間を提供する。

実施日時:毎週月・水曜日 10:30～15:00

場 所:暮らしの保健室

内 容:健康体操、パットワーク教室、季節の行事など

担 当:宮脇 裕子(事務局)

#### ② 陽だまりカフェ

実施日時:第1月曜日、第4土曜日 13:00～15:00

場 所:暮らしの保健室

担 当:松井 康代

・認知症に関する相談

・認知症予防

・「これからライフデザイン塾」の実施(料理教室、音楽療法、季節のイベントなど)

**(2) ふらっとカフェ** (がんサロン事業宮崎県委託)

- ・がん患者団体等との情報交換 (AYA 世代患者会など)

主 催：宮崎県

運営企画：ホームホスピス宮崎

実施日時：毎月第2水曜日 13:30～16:00

場 所：県立宮崎病院 会議室(がん拠点病院)

担 当：太田 幸子

**(3) 宮崎市在宅療養支援事業** (宮崎市補助事業)

- ・随時病気や介護の相談を受ける
- ・HALE たちばな相談カフェや外部専門家との連携

①在宅療養でんわ相談室

相談担当：理事長・看護師・保健師・事務局

## 4) ホームホスピスかあさんの家事業

### (1) かあさんの家の運営

- かあさんの家・曾師                      ○かあさんの家・霧島
  - かあさんの家・月見ヶ丘              ○かあさんの家・安庵（休止中）
- 統括マネージャー：久保野イツ子

- ・介護スタッフの充足を図る。そのために多様な働き方に対応する環境整備を行う。  
スタッフの増員のための求人募集の工夫を続ける。
- ・スタッフ会議と、多職種との連携のためにチームカンファを開き、情報の共有に努める。
- ・家族会の充実と交流会の開催。
- ・運営の安定を図る（入居率の向上）。
- ・介護保険と障がい福祉サービスの検討。
- ・職員のケア水準の向上とスタッフの増員は課題であるため、求人募集の工夫を続ける。
- ・BCPの策定を行う。

### (2) 訪問介護ステーションぱりおん（医療・介護保険規定による事業）

- ・ホームホスピスカあさんの家へスタッフ派遣
- 管理者：甲斐 昌江

#### 【スタッフ研修】

- ・スタッフ会議及びカンファレンスを通して、ケアの理念を共有する。
- ・防災訓練（備蓄、消火訓練、避難訓練）・感染症対策
- ・口腔・栄養管理の強化・薬についての知識を学ぶ

#### 【医療・介護サービス事業所との連携】

- ・かかりつけ医、訪問看護ステーション、訪問薬局、訪問歯科との連携。訪問リハ、福祉用具、デイサービス、デイケア、入浴サービスなどの介護保険のサービス事業者との連携

#### 【外部研修】

- ・ホームホスピス実践者育成塾の受講（2名）  
期日：2023年7月1,2日  
会場：兵庫県神戸市
- ・第12回ホームホスピス全国合同研修会の受講  
期日：2023年12月2,3日  
会場：福岡県福岡市

## 5) HALE たちばな

### (1) 医療・介護保険規定による事業

#### ① みつばち診療所

内科・小児科・精神科・在宅医療（在宅療養支援診療所）

院長：楠元 恭子（家庭医療専門医）

副院長：石坂 真梨子（4/1 より）

- ・24 時間体制で、子どもから大人まで総合的に診療する。
- ・現在、在宅医療と週 1 日の外来日を設けているが、外来に関しては必要に応じて見直しも検討する。
- ・宮崎大学の地域医療・総合診療医学講座（吉村学教授）と連携し、家庭医療・総合診療・地域医療に関する臨床実践教育の場としての役割も担う。
- ・増員に伴い、HALE たちばなの 1 階に移転した（3/1）

#### ② 訪問看護ステーションぱりおん

サテライト：訪問看護ステーションサテライトぐりーん（恒久本部内）

所 長：堤 育子

副施設長：日隠 由美子

- ・かあさんの家をはじめ、地域の在宅療養を支える。特に重度の障がいがある小児の在宅療養を支える。
- ・福祉型強化短期入所、日中一時支援事業の運営を担う。
- ・看護学生の実習を受け入れる。
- ・0 歳から 100 歳までの医療充実のためのまちづくりを目指したネットワーク構築に寄与する。
- ・宮崎小児在宅療養を支える会の運営。

#### ③ 日中一時支援 ohana

管理者：川越 やよい

- ・障がいや医療的ケアの必要な主に小児の日中一時預かり事業を行う。  
（定員 5 名～火水は 10 名）。
- ・運営日：月～金（9 時～18 時）
- ・送迎あり

#### ④ 共生型短期入所(福祉型強化)施設 leilei

管理者：広瀬 知佳

- ・主に医療的ケア児や重症児のための福祉型強化短期入所事業（5 床）を行う。  
共生型のため、介護保険適用者も利用可能。
- ・木～月（15 時～翌 17 時）、最長 2 泊 3 日
- ・木～土は送迎あり

2023年度の検討事項として、生活介護サービスの新規事業計画、また福祉型短期入所サービスの報酬見直しに関する行政（県、国）への提言（宮崎モデルの実現）及び日中一時支援サービスの報酬単価見直しに関する行政（市町村）への提言などを行なっていく。また、BCPの策定に併せて特に停電対策を強化する。

## （２）休眠預金等活用事業

- ・2021年度より休眠預金を活用した「社会的孤立解消のための事業」に取り組んでいる。
- ・対象者は、HALE たちばなの leilei、ohana を利用する子ども達のご家族（主に母親）。

- ① 県内の医療的ケア児の実態調査
- ② コミュニティカフェを活用した様々な専門家による相談カフェの実施
- ③ 研修ルームを活用したクラフト教室やヨガ教室などの定期開催
- ④ カフェでの就労支援や在宅で取り組める仕事の調査やマッチング
- ⑤ 全国の先進的な取り組みとの連携
- ⑥ SNS やリモートミーティングシステムを利用した交流や SOS ネットワークの構築
- ⑦ 福祉避難所としての設備の整備
- ⑧ これらの取り組みを実施、運営するための事務局体制の整備を3年間の計画で実施する。

この事業は、2023年度までの3年間の事業で、事業に関わるスタッフの人件費、備品費、セミナー等の講師謝金などが助成される。

2023年度は、最終年度として、SOS ネットワーク「つどいけあ」を稼働させることを目的とする。

## （３）たちばな学舎・コミュニティカフェ游椿の利用

### ①たちばな学舎

- ・宮崎大学と連携した研修施設として開設。
- ・「みつばち診療所」の増員に伴い、1階にあった「たちばな学舎」の場所に診療所を移転し、「たちばな学舎」は3階に移転（3/18）
- ・カルチャー教室を開催したり、多目的スペースとしての一般貸出も可能（平日の日中のみ）。

### ②コミュニティカフェ游椿

- ・ケアルームやオストメイト対応トイレを備えたカフェとして開設。
- ・営業は、外部の方（カフェ kiki）と委託契約を結んでの運営。
- ・休眠預金基金事業のフィールド（ママランチ会場、クラフト作品販売会場）としても活用。

## 6) ホームホスピス推進研修センター事業

### (1) ホームホスピス研修の受け入れ (全国ホームホスピス協会より委託)

- ・「ホームホスピスの学校」受講生の受入機関として、研修内容を組み立て計画に添って、指導や相談に乗りながら、ホームホスピス立ち上げまで助言指導する。
- ・ホームホスピス運営や従事スタッフが運営やケアなどスキルアップするための研修受け入れをする。

### (2) 実習の受け入れ

- ・医学生・看護学生・介護職の実習の受け入れは、新型コロナウイルス感染予防のため、すでに中止が決まった研修もあるが、希望があった場合は、感染予防を徹底しながら実習計画を立て、かあさんの家での実習を指導。

### (3) 一般社団法人全国ホームホスピス協会 (全国ホームホスピス協会事務局業務委託)

担 当: 黒岩 雄二・岡田 瑞穂・岩切 知峰

- ・第7回ホームホスピス実践者育成塾の開催

期 日: 2023年7月1、2日

会 場: 兵庫県神戸市

- ・第12回ホームホスピス全国合同研修会の開催

期 日: 2023年12月2、3日

会 場: 福岡県福岡市

- ・ホームホスピスの学校(第5期・6期)

ホームホスピスをつくりたい、ホームホスピスのケアを学びたい人のための講座  
オンライン授業・実習

## 7) 研究・啓発・情報・広報

### (1) 認定NPO 寄付文化の醸成

- ・賛助会員を増やす
- ・HPで賛助会員や寄付の呼びかけ
- ・ファンドレイジングの活用
- ・助成金の申請

認定ファンドレイザー 黒岩 雄二

準認定ファンドレイザー 岡田 瑞穂

マンスリーサポーター制を導入し、継続的な寄付収入の増加を目指す。



## (2) ホームページ SNS の充実・報道

### ① ホームページ SNS

- ・ホームページの運営(HHM・HALE たちばな)
- ・Facebook、Twitter、Instagram
- ・ニュースレター(年 2 回発行)
- ・暮らしの保健室だより(年 12 回発行)

2023 年度はホームページの構成を見直し、スマホ対応を強化する。また、求人情報や利用促進のための情報発信にも力を入れる。

### ② 報道

- ・研修会などの事業の広報を、報道機関、関係団体へ依頼する。

## (3) 講師派遣、見学及び研修の受け入れ

- ・大学講師派遣、学会などへの講師派遣
- ・見学・現場実習等受け入れ
- ・他施設職員現場研修の受け入れ

## 8) 助成・寄付

(1) 助成: 休眠預金活用

(2) 寄付: マンスリーサポーター制の導入

「Syncable」 かあさんの家 5月29日～継続寄付キャンペーンスタート

「readyfor」 HALE たちばな

## 9) 組織運営

(1) 会議の業務

- ・定時総会の開催

期 日: 5月27日(土) 13時30分～15時

会 場: 暮らしの保健室

- ・理事会の開催(年 3 回予定)
- ・リーダー会議の開催(月 1 回 第 4 木曜日)
- ・事務局会議の開催

(2) 会員管理業務

(3) 経理業務

収支の状況を定期的に確認する方法を検討し、効率的な会計管理を目指す。

(4) 労務管理業務

就業規則(給与規定)を見直し、適切な労務管理を行う。

(5) 総務関連業務・届出等

《事務局職員体制》

【本部事務局】

事務局担当理事:黒岩 雄二

経理担当:2名 総務・事業担当:2名 かあさんの家担当:1名

【HALE たちばな事務】

事務長:小川 博司

HALE 事務担当:1名 訪問看護事務担当:2名

診療所事務担当:1名 障害福祉事務担当:2名(兼務)